

## 今週のメニュー

## ■トピックス

◇建築物の持続性と高性能化を考えるシンポジウムを開催 (in 東大)

## ■随想

◇芸は身を助く!?

I. 「邦楽との出会い」

日本テントシート工業組合連合会 理事長 泉 貞夫  
紫風会 主宰 泉 紫風

## ■編集後記

## ■トピックス

## ◇建築物の持続性と高性能化を考えるシンポジウムを開催 (in 東大)

2050年の温室効果ガス排出を2013年比で80%削減という目標達成のため建築分野での取り組みが官民挙げて進んでいる。

本シンポジウムでは、その目標を達成するため ZEB (ネットゼロエネルギービル)、ZEH (ネットゼロエネルギーハウス) を切り口に、如何に快適で健康な暮らしをリーズナブルなコストで実現できるかを専門家とともに考える。

塩ビ工業・環境協会では11月18日(金)午後に東京大学伊藤国際学術センターで「2050年目標を見据えた建築物の持続性と高性能化を考えるシンポジウム」を開催することとなりました。

ご承知のように、本年5月に「地球温暖化対策計画」が閣議決定され2030年までの中期目標が示されるとともに、2050年までに2013年度比80%の温室効果ガス排出削減の長期目標が示されました。目標達成のため、建築分野でも省エネと低炭素化に向けた取り組みがすでに始まっています。

弊社主催の東大シンポジウムは今回で4回目となりますが、過去3回はビルディングエンベロップ(建物の外皮=天井、壁、床、開口部)の断熱性能向上を中心に議論を深めて参りましたが、今回は更に一歩進め、外皮と設備機器の性能向上に加え太陽光発電も含めネットゼロエネルギーを目指すZEB(ネットゼロエネルギービル)/ZEH(ネットゼロエネルギーハウス)を如何に実現していくかを考える内容とさせて頂きました。



[ダウンロード](#)

現在、新規建物ではZEB/ZEHも含め省エネ化を目指した取り組みが推進されていますが、一方で数千万戸とも言われる既存建物の省エネ対策は技術的課題もさることながら経済的な要因もあり遅々として進まない状況にあります。

地球温暖化対策は重要ですが、我々にとっては快適で健康な暮らしができる住まいを如何にリーズナブルなコストで実現できるか？がより重要であり、今回のシンポジウムでは既存建物にもスポットを当て、ZEB/ZEH 技術の既存建物への展開や経済的阻害要因（コスト高）の克服等に関して専門家の方々に講演、パネルディスカッションを通じ議論を頂く予定です。

是非ともご来場頂き、今後の住まいづくりやリフォームの参考にさせていただけると幸いです。

⇒ [シンポジウムお申込み](#)

## ■ 随想

### ◇ 芸は身を助く！？

今月から、株式会社イズミ代表取締役で日本テントシート工業組合連合会理事長を務めておられる泉貞夫氏にご登壇いただきます。

氏は生業の傍ら、「[紫風会](#)」を主宰され、古典の篠笛・津軽三味線・各地の民謡などを主に、邦楽の持つ魅力を独自の目線で追求しつつ、後進の育成と各種演奏活動を続けていらっしやいます。

今年で芸歴 41 年を迎えられる氏に、今に至る道のりと民謡・邦楽の世界をご紹介します。

#### I. 「邦楽との出会い」

日本テントシート工業組合連合会 理事長 泉 貞夫  
紫風会 主宰 泉 紫風

高校・大学と理系畑を歩き、理科目で中学・高校の教員免状も取得していた一人息子（4人の姉妹有り）の私が、已むなく父の創業した会社に入社した時、父は既に 70 歳に手が届く歳、日本がバブル期を迎える前の、まだ重厚長大を重んじる高度成長期時代でした。元来、職人気質である父に代わって取引関係や経済界の会合や宴席には弱冠 25 歳の私が出席、当然真っ先に余興・かくし芸を強要されました。当時はカラオケもなく、反面、結構文化的な趣味をお持ちの重鎮も多かった時代でした。

そんな訳で、酒宴で《知らぬ同士が♪小皿叩いてチャンチキおけさ〜♪／新民謡・歌謡曲「チャンチキおけさ」》の世界（民謡会）に入会し、好きでも無い趣味に明け暮れる事になってしまいました。本来はギター片手にフォークやポップスを弾き語り、ビートルズのレコードは全曲揃え、ジャズが大好きだった私には、お稽古日は大きな試練！どころか拷問にも似た時間でした。



泉 紫風 氏

確かに富山県は民謡の盛んな所です。「越中おわら節」は日本三大民謡の一つと言われ、「二百十日の風の盆」と称して、9月初めの三が日は、一晚中、哀愁漂う歌声と胡弓の響きに乗せて浴衣姿の男女の妖艶な踊りが、八尾の町を異次元の世界に導きます。他に有名な民謡は「こきりこ節」「麦屋節」「新川古代神」「せり込み蝶六」etc

2014年に「世界で最も美しい湾クラブ」への加盟が認められた富山湾を囲み3,000m級の北アルプスが連なる富山県は、鳥類が一番多い県、花の種類も北海道に次いで二番目に多く、四季の美しさと水が綺麗でお酒が旨く食べ物（米・魚介類・山菜・果物）も豊富で美味しく、台風や地震も極めて少ない県です。

万葉の時代から文化芸術の歴史も深いのは、大伴家持やら平家の落ち武者の多い所為とも言われております。

そんな地の利も有り、合わせて母親が長唄三味線の名取で邦楽に造詣が深かったことも功を奏して、意に反して稽古に打ち込めるようになりました。



紫風会 江差追分会富山支部 合同発表会  
(2016.7.2)

民謡会に入り、一番先に習った「こきりこ節」は、一時小学校の音楽教材になったこともある曲です。

大きな声で！口を大きく開けて！お腹の底から！音程はしっかりと！最初の一年はつまらないお稽古の連続に辟易としていましたが、続けようと心に誓えたのは、その年に子供を授かったことが大きな理由でした。親として子供に恥ずかしくない生活を送ろう！やり始めたら最後まで納得のいくまで放棄しない！逃げない！

それまでは、全て中途半端な資格ばかりでしたから、これからは最後まで！という意識に芽生えたのです。

さあ、その後の展開はどうなるのでしょうか？今に至る道のりは決して一朝一夕ではなく大変でしたし楽しいものでした。

気がつけば、今年で芸歴41年…。沢山の後進を育て、唄から三味線に、その後尺八を経て篠笛に、ジャンルも民謡から長唄・新内・小唄とコラボ、最近は詩吟の伴奏やら演歌歌手や落語家の舞台のゲスト出演と、まだまだ現役です。

次回は「民謡世界のご紹介と邦楽器の難しさ・面白さ」について語ってみたいと思います。合掌 紫風

(つづく)

## ■ 編集後記

今年は、編集後記の番が回ってくるたびに、日本のどこかで災害が起こるような感じがします。熊本地震から半年たった今、阿蘇山が36年ぶりに爆発的な噴火をしました。復興を加速させたい熊本の人たちにとって、辛い状況となってしまいましたが、二つの被害に遭われた方には、お見舞いを申し上げますとともに、一刻も早い復興をお祈りしております。

(ももった)

## ■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)



◆編集責任者 事務局長 名原 克典

■東京都中央区新川 1-4-1

■TEL 03-3297-5601 ■FAX 03-3297-5783

■URL <http://www.vec.gr.jp> ■E-MAIL [info@vec.gr.jp](mailto:info@vec.gr.jp)